

女性部ニュース

2015年2月10日発行

No. 71

発行責任者 三木 啓代
東京都新宿区上落合 2-28-7
落合高山ビル4F
電話 03-5338-8988
FAX 03-5338-8981

第23回都本部女性部定期総会報告

女性部定期総会に先立って、光畑由佳さん（モーハウス代表）により「やわらかな働き方革命～『授乳服』から『泣く子は新幹線に乗せるな論争』まで」と題して講演を行いました。

中央線の中でやむなく授乳したご自身の体験から授乳服が生まれた経緯や、モーハウスの子連れ出勤について、「子連れ新幹線論争」を例に子育ての社会化について話されました。会場では授乳服のサンプルが展示され、実際に参加者が手にとって見ることができました。



続いて、町田市図書館嘱託員労組・田中幸枝さん、調布市職労・友純子さんを議長に選任し、自治労東京都本部女性部総会を開会しました。

三木都本部女性部長の開会の挨拶ののち、来賓として宮本都本部委員長、松澤本部女性部部長、長妻都本部青年部長から連帯の挨拶を受けました。

佐々木事務局長から経過報告があり、拍手で承認されました。議題は、第1号議案として2015年度の運動方針の提案が三木女性部長からされ、次に第2号議案として自治労東京都本部女性部規程の一部改正について岩田事務局次長から提案されました。その後質疑を

求めたところ、7単組9本の意見が出されました。

自治労都庁職福祉保健局支部から「ナヌムの家」スタディツアーの報告と確定闘争での非常勤職員の一般職への変更について。立川市職労から単組での取り組みと都本部臨時非常勤協議会議長としての取り組みの報告。北区職労から気仙沼市職労への支援を始めとした運動の報告と妊娠障害休暇をはじめとした独自要求について。荒川区職から単組での取り組みと税と社会保障の一体改革についての意見。練馬区職労からは2本発言があり、1本目は女性部の活動報告と女性検診、特定政党への支持について。2本目はパワーハラスメントについて。中野区職労からも2本発言があり、1本目は単組での平和の取り組みについて。2本目は子ども子育て新システムについて。中央区職労からは、昨年女性部総会でも報告された保育園調理員の新規採用について報告がありました。

これらについて執行部答弁をし、その後議場閉鎖の後、採決をしました。第1号議案は賛成34名反対5名、第2号議案は賛成39名反対0名で、それぞれ高率で可決承認されました。

総会宣言の提案も拍手で承認され大会は終了しました。

参加者は代議員41名、傍聴者5名とその他常任委員等を含め56名の参加がありました。

2014年は「マタニティ・ハラスメント」をテーマに取り組みましたが2015年は「育児の社会化」をテーマに、女性の地位向上をめざして取り組んでいきますので、ご協力をお願いいたします。

女性部総会アンケートについて

都本部女性部総会では記念講演を行っていますが、講演に時間が割かれ、総会で十分に発言できていないという意見があります。一方、女性部が注目してほしいことを伝える良い機会であるという意見もあります。これらの意見について総会参加者がどのように考えているかアンケートを取りました。

回答数 36 枚、参加者数 56 名、回答率 64.2% であり、結果としては、今後も記念講演があったほうが良いという結果になりました。詳細は次の通りです。

年代	4	3	7	21	1
単組	16	11	6	3	
日程	17	1	3	5	
場所	26	3	11	5	
今回の講演	17	12	0	7	
講演の是非	16	13	6	1	

女性部総会アンケート結果				
年代				
10-20代	30代	40代	50代以上	無記入
4	3	7	21	1
単組				
区職	市町職	その他	無記入	
16	11	6	3	
日程				
良かった	やや良い	やや悪い	悪かった	無記入
17	11	3	0	5
場所				
良かった	やや良い	やや悪い	悪かった	無記入
26	3	1	1	5
今回の記念講演について				
良かった	やや良い	やや悪い	悪かった	無記入
17	12	0	0	7
今後の記念講演の開催について				
あったほうがよい	どちらかといえばあったほうがよい	どちらかといえば無くてよい	無くて良い	無記入
16	13	6	1	0

韓国「ナヌムの家」スタディツアー報告

韓国「ナヌムの家」スタディツアーは、自治労都庁職保健局支部が、国際交流の一環として1998年から実施し、2007年度から2013年度には都本部と共催して、反戦平和・人権問題として取り組んできました。都本部傘下の各単組からも多くの組合員が参加し、運動を広げてきました。2014年度からは福祉保健局支部単独の主催に戻りましたが、都本部女性部は「女性の人権を守り、平和を求める活動」を継続した取り組みとして今回も役員を派遣しました。

ツアー中は、コーディネーターの姜(カン)さんが同行し、これまでの取り組みや運動についての説明を受けながら、独立記念館や柳寛順(ユ・ガンスン)烈士遺跡なども見学し、日本帝国の侵略と韓国の独立運動の歴史なども学びました。

スタディツアーの一番の目的地「ナヌム(分

2015年度第1回女性部単組代表委員会

日時 2015年3月2日(月)

場所 都本部会議室

議題 女性部年間計画 他

学習交流会「1, 東京都確定闘争・配偶者同行休業制度導入など 2, 特定事業主行動計画について各単組の進捗状況 3, 結婚休暇の運用について」

2014年確定闘争では東京都が配偶者同行休業制度導入や子どもの看護休暇の対象年齢拡大など動きがありました。また、特定事業主行動計画が2015年4月から10年間延長されますがどの様な対応をしているのか、さらに、昨年の女性部単組代表者会議などで話題となった結婚休暇の運用について情報交換します。参加される単組は特定事業主行動計画をお持ちください。

今回より女性部単組代表者会議の出席者を登録します。都本部からの発文の通り、各単組で登録をお願いします

「かち合い」の家」と敷地内に併設されている「慰安婦歴史館」には、2日目に行きました。

ナヌムの家に行く途中の車内で、カンさんから韓国語の挨拶や韓国の独立運動の歴史や学生運動、戦争などについてのお話がありました。また、戦争の被害者的な（拉致被害や原爆投下等）情報はよく見聞きするのですが、加害者的な立場での情報はあまり出さず、「認めない日本」の現状がとても情けなく思いました。

「ナヌムの家」は、日本軍慰安婦であったと証言する韓国人女性（ハルモニ＝おばあさん）が、日韓の若者を中心としたボランティアスタッフとともに共同生活を送る民間施設で、年間1万人（その内、日本人は3000から5000人）の来館者があります。

ナヌムの家では、はじめにオンドル（床暖房）の広場でDVD学習した後、歴史館を見学しました。

「なんということがおこなわれてきたのか！戦争だから…で済まされることではない！とても人間のすることとは思えないことをしたんだ」と愕然としました。また、このことを黙って耐えてきたハルモニたちの心や体を考えると涙が溢れてきました。「生き抜いてきてくれてありがとう、証言してくれてありがとう」と、ナヌムの家で暮らすハルモニたちの手をさすりながら心の中で思いました。暖かい声と手が印象的でした。

ツアー最終日は、日本大使館前で行われている水曜集会（1992年1月8日に開始）に参加しました。平日の昼にもかかわらず、たくさんの学生や市民、児童も参加していました。日本人のご夫婦が参加していたのには少し驚きました。また、ナヌムの家のハルモニはいまいませんでしたが、2人のハルモニが参加していました。高齢のため、近くに住んでいるハルモニが参加するのが精一杯だそうです。

戦争は、本当に残酷です。被害者はもちろん、加害者になる側も、心にも体にも記憶にもずっと残る傷を負います。日本における沖

縄戦も広島・長崎の被爆も、日本人だけでなくアジアを中心に多くの被害者がいまだに苦しんでいることを、多くの日本人が知らなければいけません。私たちは、戦前の日本に戻ることはないよう、日本の政治に声をあげていかなければいけません。

コーディネーターのカンさんが「平和のために、いろんな国の人と友達になりましょう。友達のいる国には、爆弾を落とせないでしょう。」といった言葉やスタディツアー事務局の藤内さんの「女性の人権を守るため、歴史の中でのマイノリティ（一番弱い人）の立場で運動する。」という言葉が印象的でした。

自分の目で見て、心で感じて、一緒に行動することが、とても大切です。ハルモニたちが元気なうちに、たくさんの方にナヌムの家スタディツアーを体験し、体感してもらいたいと思います。



「生理休暇」は恥ずかしい？

現在、年休生休アンケートの実施を各単組にお願いしていますが、「生理休暇という名称が人前で話づらい」といった意見がよくみられます。実際に四国地方では名称変更をした単組が多くあります。しかし同時に「休暇が取りやすい環境整備が重要」「生理は恥ずかしいことではない」という意見も出てきます。東京では女性部が存在しない単組が多いですが、女性特有の問題を女性だけで話す場が必要ではないでしょうか。

2015年度都本部女性部年間計画（案）

	自治労都本部女性部	自治労都本部、自治労関東甲地連	自治労中央本部、平和フォーラム	連合東京
2014年12月	基本組織単代出席 12/16	関東甲地連青年女性春闘中央討論集会 12/20-21		連合東京女性委員会総会 12/6 連合三多摩女性委員会 12/10
2015年1月	基本組織単代出席 1/20 常任委員会 1/27	都本部旗開き 1/8 都本部春闘討論集会 1/24	拡大女性部長会議 1/19	連合三多摩女性委員会総会&第18回 職場報告会 1/21
2015年2月	基本組織単代出席 2/10 常任委員会 2/12 女性部ニュース発行	都本部青年女性合同会議 2/17 都本部青年部定期総会 2/25	座長養成講座・音楽 活動家養成講座 1/31-2/2	女性委員会幹事会 2/2
2015年3月	単組代表者会議 3/2 基本組織単代出席 3/24 常任委員会	関東甲地連青年女性協議会女性集會 および拡大幹事会		国際女性デー中央 集會、女性委員会幹 事会 3/5
2015年4月	基本組織単代出席 常任委員会	都本部青年女性合同 会議		連合三多摩女性委 員会 メーデー4/29
2015年5月	基本組織単代出席 常任委員会 平和フィールドワーク		憲法フォーラム5/2-3 はたらく女性の集會 5/23-24 沖縄平和 行進 5/15 前後	女性委員会幹事会
2015年6月	基本組織単代出席 常任委員会 女性部ニュース発行	男女平等推進闘争 都本部関東甲交流 集會結団式	男女平等推進闘争 女性部長会議	男女平等月間 女性リーダー養成基礎講座 6/5 男女平等セミナー 東京都産業労働局との女性労働 情勢懇談会 連合三多摩女性委員会(宿泊研 修)
2015年7月	基本組織単代出席 常任委員会 単組代表者会議	関東甲地連交流集 會 7/10-11	女性労働学校後期 7/31-8/2	女性委員会幹事会
2015年8月	基本組織単代出席 常任委員会		原水禁広島大会 8/4-6 女性部定期総会(石 川県金沢市県立音 楽ホール)8/22-23	連合三多摩女性委 員会
2015年9月	基本組織単代出席 常任委員会 女性部ニュース発行 単組と共催のレクリエ ーション			女性委員会幹事会 連合三多摩女性委 員会「女性セミナ ー」
2015年10月	基本組織単代出席 常任委員会 ナヌムの家スタディー ツアー派遣		女性部長会議	連合三多摩女性委 員会&職場見学会 連合中央女性集會
2015年11月	基本組織単代出席 単組代表者会議 常任委員会 定期総会 11/28			女性委員会幹事会 女性委員会&各種公的審議会 派遣女性委員会 連合三多摩女性委員会「女性組 合員対象レクリエーション」

3月2日女性部単組代表者会議にて決定予定